

部局名	都市整備部	所属名	土木建設課	所属長名	森田 陽一	電 話	483-1151 内線3620
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3698		事務事業名称	道路橋梁補修事業						短縮コード	経常	3698	臨時	3297
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	02	道路橋梁費	目	02	道路橋梁維持費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	道路法第16条，42条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
市道及び橋梁などの道路構造物を維持するため、損傷部分の補修工事を実施し、通行の安全を図る。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして					
道路などの構造物の老朽化の進行や大型車両等の交通量の増大により，補修箇所が著しく増加している。迅速な対応が求められている一方，応急的な維持修繕では対応しきれない状況にある。これに伴い事業費も増加している。又，今後は抜本的な補修の必要な箇所が増えることが予測される。							大項目（節）	02	道路					
							中 項 目	02	市道					
							小項目（施策）	02	一般市道の整備					
							細 項 目	02	市道の整備					
						実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市が管理する道路						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 舗装道補修工事，小規模工事						
	※平成22年度に計画していること： 舗装道補修工事，小規模工事						
意図 （何を狙っているのか）	道路の機能を維持する						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	20年度	21年度		22年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	要補修整備件数	件	87	80	91	80
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	補修整備件数	件	87	80	91	80
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	整備率	%	100	100	100	100
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード		3698	事務事業名称	道路橋梁補修事業			所属名	土木建設課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円			40, 500	121, 154	
		県	千円					
		地方債	千円				135, 800	
		一般財源	千円	267, 907	134, 697	214, 179	229, 486	
		その他	千円	15, 450		100		
	主な事業費の内訳			工事請負費 241, 265千円	工事請負費 114, 700千円	工事請負費 234, 454千円	工事請負費 162, 391千円	
人件費 (B)			千円	92, 819. 5	44, 229. 3	88, 589. 6	168, 317. 4	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	376, 176. 5	178, 926. 3	343, 368. 6	654, 757. 4	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	「道路橋梁補修事業」は上位の施策である「一般市道の整備」を推進するために重要な事業である。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	今後とも市道の安全な通行を確保していくために維持・補修との管理が必要である。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	道路法に道路管理者としての市の責務規定があるため。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	目的の変更はなく，現状の対象と意図で結果に結びつくことが出来る。						
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	市道の安全な通行を確保するために維持・修繕が必要であり，現時点では可能性がない。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1			実施主体 (所管部署)	
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し		2				
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法						
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	3698	事務事業名称	道路橋梁補修事業				所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			市道及び橋梁等の施設は、経年変化による劣化が進行しており、抜本的な改修の必要性の増加等の課題もあるが、現状のまま継続していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			市が管理する道路を良好に維持管理するために維持補修が必要であるため、経費の増加という課題があるが事業成果の向上が図れる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市道及び橋梁等において大型車両の増加や経年変化による施設の損傷等に対する補修や修繕を速やかに実施するよう意見や要望がある。									

所属長コメント	社会資本ストックの維持管理・更新のため、アセットマネジメント手法による予防的な修繕及び計画的な更新による維持管理に努め、安全性・信頼性を確保する必要がある。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									